

## 我国初の輸入性 MERS 患者 10 日間無発熱ながら隔離続く

新浪新闻中心 news.sina.com.cn 2015-06-16 04:59 金羊网-新快报

我が国初の輸入性 MERS 患者は、その痰や糞便から陽性反応がでており、まだ隔離を解除されていない。新快報記者が、昨日（6 月 15 日）広東省疾病予防管理センター（以下『省 CDC』）から得た情報では、我が国初の輸入性 MERS 患者－韓国から来た金\*が、10 日連続で発熱がなく、咳の間にも明確な痰が混じっていないものの、胸部 X 線写真では両肺にはまだ炎症が残っており、滲出は以前より減少している。病状は全体として安定しており好転している。

予防管理の専門家グループは、金\*がいつ隔離解除されるかについては、検査データを見なくてはならない、必ず血液や痰、糞便この三つの検体からの測定結果がもし同時に陰性と二度出れば隔離解除されるだろう。現時点、関連サンプルの測定結果は、血液では既に陰性になっているが、痰と糞便が陽性となっている。院内感染のリスクがまだ残っている、と語る。

■新快報記者 黎秋玲  
通信員 粵康信

### 患者のウィルス量は絶えず減少、状況は日々好転

5 月 29 日、我が国初の輸入性 MERS 患者が確診された。6 月 11 日 0 時までの時点で、医学観察を受けていた 75 名の国内にいる濃厚接触者たちは、二度のサンプル検査の結果が陰性となり、体温も正常となり、二週間にわたる医学観察を経て、異常がない状況であり、医学観察解除の基準に合致した。

患者の金\*は医療スタッフの努力により、病状は安定、以前より好転している。『連続 10 日間発熱がなく、血液検査も連続で陰性となった。』省 CDC の宋鉄副主任は、昨日（15 日）、医療スタッフが全力で治療に当たり、『ある時期は、金\*が韓国の国民がネット上で彼の行為に対して批判の声があるのを知り、特に父親の病状が悪化したのちは情緒バランスが崩れ、自分の体に取り付けられた全ての治療器具を抜き去り、治療を拒否して一旦病状が悪化した』と語る。宋鉄副主任は、さらに、辛抱強いコミュニケーションやターゲット化したセラピーの結果、状況は日に日に好転した。

惠州の ICU 重症病棟は、今もまだ金\*の治療のために使われており、5 月 29 日からこれまで、金\*は ICU の陰圧室から一步も出ていない、また、医療スタッフもその治療過程では十分な防護をしている。

この金\*の隔離解除がいつになるかについて、宋鉄副主任は、血液と痰、糞便の三つのサンプルの測定結果が同時に二度陰性になって初めて隔離解除となる。今のところ、血液サンプルは既に何日もにわたり陰性となっており、痰と糞便の測定結果は陽性となっている。そのサンプルにおけるウィルス量は絶えず減少を続けているとはいえ、医療スタッフの防護は気を抜けない。宋鉄副主任は、鐘南山院士が昨日この金\*に対する治療方案を調整したところだと語った。

### MERS の輸入リスクはまだ存在

ラッキーなことに、75 名の国内濃厚接触者は隔離が解除されているが、この意味するところは、この輸入性患者から他人への二次感染リスクが基本的に排除されたといえることだ。宋鉄副主任は、金\*が父親を見舞いに行ったとき、韓国 MERS の初発症例と同一病室のカーテン一枚隔てたところに入院しており、咳が肥城にひどく、大量のウィルスが拡散したのではないかという。『濃厚接触者が金\*と接触をした時幸いにも彼の病状はそれほど悪くなく、咳もなく、発熱だけだったことだ。6 月初めに金\*には痰が出始めたが、既に隔離治療に入っており、看護と防護もしっかりしていたので、感染制御が段階的にうまくいった』と宋鉄副主任は語った。

感染制御の専門家は、濃厚接触者が医学観察を解除されたとはいえ、患者の状況も日々安定且つ好転しているとはいえ、流行輸入のリスクはまだ存在しており、疾病の感染制御をしているものとしては、これは単なる『カンマ』であり、収束したという意味での『ピリオド』ではないのだという。

宋鉄副主任は、今後も **MERS** の輸入リスクの挑戦が続くが、まさに **WHO** 駐中国代表のバーナード・シュワルツランダー氏が先日語ったように、**MERS** のような疾患が伝播することは人類の常態なのだと語る。さらに、中国は、韓国や中東との人の往来が多く、特に、いま韓国で大流行しているので、専門家の研究から、**MERS** が中国に輸入されるリスクは明らかに増えている。国家質量監督検疫総局もまた、近日 **MERS** の我が国への輸入帽子についての公告を出している。

宋鉄副主任は、省 **CDC** は **MERS** 流行の趨勢に特に注目しており、**MERS** 関連情報の収集とコミュニケーションを強化、旅行や商用で中東と韓国など流行輸入リスクのある地区で活動をした人たち、輸入性疾患流行後に患者を続発させた場合や大規模感染のリスク等に対して速やかに全面的かつ科学的な研究をし、輸入性 **MERS** 流行打破のために闘っていると語る。

### 専門家として賞賛されるも父親「失格」

疾病予防管理で、鐘豪傑は息子の大学入試に立ち会えず、高校の卒業式にも列席できず。記者は、今回の **MERS** 対応戦において、流行の予防制御に働く人たちが「巨大な」努力をしていることを知った。つまり、流行の発生から始まり、彼らには既に出勤・退勤の概念もなく、ひたすら作戦状態にしているのだ。その中には感動させられたストーリーもある。

#### 「SARS」患者のサンプルを採取したのも彼

省 **CDCER** の **ER** 部鐘豪傑主任は、省 **CDC** が派遣した工作グループのメンバーで、長年にわたり惠州の現場についているが、この **20** 日あまり奮闘が続いている。**2003** 年に、鐘豪傑主任は最初の「**SARS**」患者のサンプルを採取していたが、今回、彼はまた感染のリスクを負い、中国初の輸入性 **MERS** 患者の血液などのサンプル採取に成功した。

毎日毎日の調査や追跡、サンプル採取、消毒、状況の検討とレポート、これらが彼の主要な活動だが、彼の息子は今年大学入試だったが、彼は息子を見送ることも、一緒に試験場に付き添うことも、息子から招待されていた高校の卒業式に出席することも、鐘豪傑主任は何一つ約束を守れなかったのだ。

#### 「私のしているこの仕事は冷静沈着なものでなくてはならないがリスクは誰にもあるものです」

「我々は、通常も忙しく、一年の三分の一は出張しています。」鐘豪傑主任は言う。いつも子供との交流が少なく、息子さんが幼稚園から高校を卒業するまでに父兄会に参加したのはわずか **6** 回だけだ。「**SARS**」のあの時、鐘豪傑主任の息子は幼稚園から小学校に上がる時だったが、その時に息子が自慢げに同級生に語ったのは：「僕のパパがそれをやったんだよ、みんな心配しないでいいよ」。が、息子が大きくなるにつれて徐々に父親の仕事を理解し始めるともう同級生に自慢しなくなった。日頃から父親を気遣う言葉を口にするようになった「今回、息子は何度も『疲れすぎないように、安全に注意して！』と言い出したのです。私も感動しました。」『**SARS**』を経験しているとはいえ、鐘豪傑主任は **MERS** の流行について「これが私の知っている全て。日頃から職務上の訓練があり、私もその最中は、冷静沈着です。何かの仕事を担当する時には、誰でもリスクに直面するものです。きっちりと防護をするしかないのです」鐘豪傑主任は、さらりと語る。

情報では、**6月9日**までの時点で、鐘豪傑主任ら公衆衛生予防制御の専門家たちは、患者の血液や、咽頭スワブ、痰や糞便、尿等 **52** のサンプルを採取、濃厚接触者のサンプルも **200** 近く採取、職業上暴露リスクのある医療スタッフ **101** 人の血液や咽頭スワブなども採取し、省 **CDC** に検査のために送付、動態監視やローラー調査を実施した。患者のサンプルは、随時送付され、その都度検査をしなければならぬために実験室の検査要員は、昼夜なしに実験室で待機せねばならない。ある時には **1** 日に **56** ものサンプルが送付され、検査結果が出て初めて退勤できるため、スタッフは常日頃から夜遅くまで残業をして漸く帰宅できる状況だった。但し、疾病管理グループが連日來の無私の貢献と奮闘により、初期段階の勝利を実現し、今回の輸入性疾患の流行の基本的制御がなされている。

### ■病気についてもっと知ろう

**MERS** の特効薬はなし、キムチや生姜、サツマイモを食べても予防はできない

キーは、手洗いの励行と感染リスクのある区域に行かぬこと

韓国の **MERS** 流行は拡大が続いており、韓国国民の不安心理もまた増え続けている。キムチや生姜、サツマイモなどの食品が韓国では爆買いされ、消毒薬や抗菌薬もまた韓国民が **MERS** 予防手段視されている。が、広東省 **CDC** の専門家が昨日、**MERS** には現状特効薬はないことと、上述のような **MERS** 防護措置に

は意味がなく、多量の服薬や消毒剤使用は、逆に健康を損なうと指摘している。

宋鉄副主任は、「最も有効な防御は、手洗いの励行、個人衛生をしっかりと、換気通風を良くするために頻りに窓をあけ、ナマノ食物や乳製品などを食べないことだ。」と言う。同時に、現時点では院内感染がほとんどで、社区での伝播はまだない、とも強調している。その他に、中東や韓国に旅行や出張する際、リスクに身を晒す地区での活動をせず、ハイリスクな場所にはゆかないことが肝要だと強調している。

<http://news.sina.com.cn/c/2015-06-16/045931954014.shtml>

..... 以下は中国語原文 .....

## 我国首例输入性 MERS 患者 10 天未发烧 未解除隔离

新浪新闻中心 news.sina.com.cn 2015-06-16 04:59 金羊网-新快报

作为我国首例输入性 MERS 患者，其痰液、粪便仍间中检出阳性，尚不能解除隔离

新快报记者昨日从广东省疾病预防控制中心(下称“省疾控”)获悉，我国首例输入性中东呼吸综合征(MERS)患者——来自韩国的金某，已连续 10 天无发热，间中咳嗽，无明显咳痰，胸片显示双肺仍然有炎症，但渗出较前减少。病情整体趋于稳定好转。

防控专家组表示，金某什么时候解除隔离，仍要看检测指标，必须在血液、痰液、粪便这三个标本检测中若同时出现两次阴性，才能解除隔离。目前相关标本检测结果是血液已经呈现阴性，但痰液、粪便检测仍间中有阳性。提示仍存在院内感染的风险。

■新快报记者 黎秋玲

通讯员 粤康信

### 患者病毒载量不断减少 状况一天天好转

5 月 29 日，我国首例输入性中东呼吸综合征病例确诊。截至 6 月 11 日 0 时，接受医学观察的 75 名境内密切接触者经两次采样检测结果阴性、体温监测均正常，经过两周医学观察，均无异常情况，达到了解除医学观察的标准。而患者金某经过医务人员的努力，目前病情稳定，较前期有好转。“连续十天无发烧，血液检测连续阴性。”省疾病预防控制中心副主任宋铁昨日对记者表示，医务人员对其倾尽全力救治，“有段时间，金某得知韩国民众从网上了解到对他谴责的声音，特别是得知其父亲病情加重后，情绪失控，还曾拔掉身上的所有治疗设施，抗拒治疗，病情一度较为严重。”宋铁说，经过耐心沟通、有针对性地治疗，金某的状况一天比一天好。

惠州 ICU 重症病房目前仍专门腾出来供金某接受治疗，从 5 月 29 日至今，金某未踏出 ICU 的负压病房一步，而医务人员对其治疗过程，也是做足防护。

何时可以解除对金某的隔离？宋铁称，金某必须在血液、痰液、粪便这三个标本检测结果同时两次阴性，才能解除隔离。目前血液标本已经多天呈现阴性，但痰液、粪便检测仍间中有阳性，不过阳性标本上的病毒载量也在不断减少，医务人员的防护仍不能放松。宋铁透露，钟南山院士专家组昨日对金某适时调整了治疗方案。

### 仍然存在 MERS 疫情输入风险

幸运的是，75 名境内密切接触者日前解除隔离，意味着发生本轮二代病例(即由该输入性患者将疾病传播给其他人)的风险基本可以消除。宋铁说，金某去医院看望住院的父亲，当时韩国首例 MERS 患者同住一个病房，只隔着一个屏风，而且咳嗽非常厉害，存在大量病源扩散。“密切接触者接触金某时，所幸他病情不算严重，而且没有咳嗽，只是发烧。而 6 月初，金某出现咳痰时，已经被隔离治疗，有了更好地监护和防护，使得疫情控制取得阶段性胜利。”宋铁说。

然而疾控专家表示，尽管密切接触者已经解除医学观察，病例的情况也日渐稳定并好转，但由于疫情输入的风险仍存在，对于疾控人来说，这还只是一个“逗号”，而不是意味着结束的“句号”。

宋铁表示，下一阶段仍将继续迎来 MERS 疫情输入风险的挑战，正如世界卫生组织驻华代表施贺德日前表示，MERS 类疾病的传播将是人类常态。而且，我国与韩国、中东地区人员往来较多，特别是目前韩国疫情出现了暴发，经过专家研判，认为 MERS 疫情输入中国风险显著增加。国家质检总局最近也发出了关于防止 MERS 传入我国的公告。

宋铁说，省疾控中心将继续高度关注 MERS 疫情发展趋势，强化 MERS 相关信息的收集和沟通，及时针对由于旅游、贸易来往等活动从中东和韩国等地区输入疫情的风险，以及发生输入性疫情后导致续发病例以及大规模传播的风险等进行全面和科学的研判，为应对输入性 MERS 疫情风险打好“有把握的仗”。

### 称职的专家 “失职”的父亲

为了防控疫情，钟豪杰未能陪儿子高考，高中毕业典礼也爽约了

记者了解到，在本轮应对 MERS 疫情的战役中，参与疫情防控的疾控人员付出了巨大的努力，从疫情发生开始，他们基本已经没有上下班的概念，一直都处于作战的状态。这其中发生了很多感人的故事。

### 第一份“非典”患者标本也是他采的

省疾控中心公共卫生应急部主任钟豪杰作为省疾控中心派出的工作组成员，长期驻守在惠州现场，已经连续奋战近 20 天。2003 年，钟豪杰曾参与采集第一份“非典”患者标本，这次，他又冒着被感染的风险，成功采集了首例输入性 MERS 患者的血液等标本。

每天开展调查、追踪、采样、消毒、疫情研讨和报告等，是钟豪杰的主要工作，他的儿子今年参加高考，他没能送考、陪考，而儿子邀请他参加高中毕业典礼，钟豪杰不得不爽约。

#### “我做这些工作是坦然淡定的，总得有人冒险”

“我们这一行，平时就很忙，一年有三分之一在出差。”钟豪杰说，平时与儿子交流不多，从他幼儿园到高中毕业，只参加过 6 次家长会。“非典”那年，钟豪杰的儿子刚从幼儿园升小学，那时他还会自豪地与同学炫耀：“我爸爸就是做这个的，你们不用担心。”不过随着孩子的长大，慢慢了解父亲的工作后，不再向同学炫耀了，平时倒会冒出一两句关心父亲的话语，“这次儿子就叮嘱我‘不要太累、注意安全’。让我觉得很感动。”不过经历过“非典”、MERS 等疫情的钟豪杰说，“这些都是我最熟悉的领域，平时有职业锻炼，我做这些工作时，也是坦然、淡定的。应当有担当，也总得有人冒点风险，只能尽量做好防护。”钟豪杰朴实地说。

据了解，截至 6 月 9 日，钟豪杰等公共卫生防控专家，共采集患者血、咽拭、鼻拭、痰、粪便、尿标本 52 份，采集密切接触者的样本近 200 份，采集存在职业暴露风险的医护人员 101 人的血液、咽拭子和鼻拭子送省疾控中心检测，以实现动态连续监测或排查。因为病例标本都是随送随收、随时检测，实验室检测人员有时也不分昼夜随时在实验室待命。有时候 1 天会收五六批样本，要做到出检测结果才能下班，经常都需要加班到夜晚才能回家。但正是疾控团队连日来不懈奋战和无私付出，才实现了现阶段的初步胜利，使本轮的输入性疫情得到基本控制。

### ■知多 D

#### MERS 无特效药，吃泡菜、生姜、红薯都不能防病

#### 关键是勤洗手 不去疫情风险区域

韩国 MERS 疫情持续扩散，韩国民众的不安心理也持续增加，泡菜、生姜、红薯等食品在韩国销售火爆，而消毒剂、广谱抗菌药等也被民众视为预防 MERS 的手段。然而，昨日广东省疾控中心专家指出，MERS 目前无特效药，上述预防措施对 MERS 防护不会起作用，乱吃药或消毒剂使用不当，反而有损健康。

“最有效的防护是勤洗手，搞好个人卫生，经常开窗通风，不吃生的食物和奶制品等。”宋铁说，同时他强调目前疫情只是在院内感染为多，并未在社区造成传播。另外，到中东、韩国旅游、公干时，不要到风险暴露区域活动，不接触高危场所。